



学部創立100周年を迎えて思うこと

鈴木邦彦

来年、園芸学部は創立100周年を迎える。100周年記念事業会に検討委員として関わったが、改めて、私の卒業後から今までの自分が歩んできた道を振り返ってみたいと思う。

私は、昭和44年に園芸学部総合農学科、営農気象学研究室を卒業、西武百貨店に入社した。当時、注目を浴びつつあった新規事業としてグリーンビジネスプロジェクトに参加し、園芸部を立ち上げる。

また、舞鶴市にある西武舞鶴農場に舞鶴植物研究所を設立。中国から唐つばきの原種を導入し、国内外のつばきの品種1500種、20,000本をもつ日本有数のつばき園オープンに関わる。そして、1990年大阪で開催された「花と緑の博覧会」に併せて舞鶴市に「国際つばき大会」を誘致することができた。

さらに、その後籍をおいた園芸趣味愛好家の団体である英国王立園芸協会日本支部(RHSJ)の運営では、会員に向けてのセミナー・講演会・見学会などを数多く行い、園芸普及に尽力する事ができた。

私がこうした活動を行うことができたのも、一重に専門分野における諸先輩方の助言やお力添えがあったからだと思う。

以前、卒業生を対象に行ったアンケートで、『問；千葉大学

でのキャンパスライフから得たもので一番大きなものは何ですか』に、「友人とのネットワーク(52.8%)」、「授業・研究で学んだことが現在の仕事に生かしている(52.3%)」という結果がでていた。私自身、友人、諸先輩方とのネットワークのおかげで様々な困難を乗り越えることができ、大学で学んだことが仕事に大いに役立っている。

しかし、このような結果もでていた。『問；千葉大学へ不満を感じたことはありますか』の答えに、「はい(57.7%)」。その理由として一番多かったのが、「就職支援が弱い(43.3%)」ということであった。

これからますます自然環境保護に目が向けられている昨今、このような不満が出てしまうことは非常に残念に思う。園芸学部という専門性・特殊性を生かした活躍の場が開かれることを期待したい。

私も還暦を過ぎ、最近では毎月第1、第3土曜日に園芸学部構内の清掃、草刈りなどのボランティアにも参加させていただいている。少しでも、より良い大学作りに貢献できればと、今後も園芸関係分野の発展のために微力ながら協力できればと思う。

花葉
2008
NO.27
目次
禁無断転載

私の提案 学部創立100周年を迎えて思うこと.....鈴木 邦彦 (1)
アジアの植物品種保護の国際調和に向けて.....皿谷 俊祐 (2)
色彩豊かな葉色の変化に魅せられて II.....横井 政人 (5)
南北アメリカの花き業界の消費拡大活動【Flower For Kids】.....佐無田 仁 (10)
世界の花贈り事情と日本.....中尾 成昭 (14)
自叙伝抜粋 過渡期の花卉試験研究の一員として.....村井 千里 (18)
「MPS GPA」を取得して.....長岡 求 (22)
千葉県立中央博物館収蔵・岩佐亮二コレクション (浮世絵).....御巫 由紀 (28)
お客様が求める植物そして園芸店とは?.....椎名 亜紀 (32)
女性後継者として.....飯田久美子 (36)
表紙解説 ポンセチア.....横井 政人 (40)
オーストラリア タスマニア旅行記.....小泉 力 (44)
2008年花葉サマーセミナー報告.....久保田芳久 (48)
花卉園芸学研究室レポート～サクラ最前線～.....上村 文武 (53)
園芸別科花組レポート～人生花色・花組みの色～.....菅原 弘行 (54)
花葉会賞受賞記念講演.....村川 文彦 (61)
花葉会賞受賞者紹介 (58) 園芸学部創立100周年事業について (63)
花葉会総会 (55) 花葉会会則・役員名簿 (57) 会員名簿の追加と訂正 (62)